

第9期 決算速報

(平成14年7月1日から平成15年6月30日まで)



平成15年8月15日

株式会社 旅籠屋

会社名(定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名(英文商号)	Hatagoya & Company
証券コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿3丁目3番4号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

第9期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	前年度 第4四半期 H14.4.1～ H14.6.30	今年度 第1四半期 H14.7.1～ H14.9.30	今年度 第2四半期 H14.10.1～ H14.12.31	今年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	今年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	今年度 累計 H14.7.1～ H15.6.30	前年度 累計 H13.7.1～ H14.6.30
営業収益							
売上高	33,036	61,739	38,001	39,670	43,092	182,504	143,738
営業費用							
売上原価	32,525	38,685	39,237	35,296	38,855	152,075	125,295
販売費及び一般管理費	10,651	9,765	8,816	9,577	9,525	37,684	43,098
営業損益	10,140	13,288	10,052	5,203	5,287	7,254	24,655
営業外収益	39	5	229	708	47	990	514
営業外費用	2,584	1,739	1,642	1,482	1,570	6,434	9,368
経常損益	12,685	11,554	11,465	5,977	6,809	12,699	33,509
特別利益	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-
税引前四半期(当期)純損益	12,685	11,554	11,465	5,977	6,809	12,699	33,509
法人税、住民税及び事業税	932	-	-	-	1,192	1,192	1,092
四半期(当期)純損益	13,617	11,554	11,465	5,977	8,001	13,891	34,601
前四半期繰越損益	124,258	137,875	126,321	137,787	143,764	137,875	103,273
四半期(当期)未処分損益	137,875	126,321	137,787	143,764	151,766	151,766	137,875

期中平均株式数	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株
1株当たり当期純損益	2,422円	2,056円	2,040円	1,063円	1,423円	2,471円	6,156円
潜在株式調整後 1株当たり当期純損益(注1)	-	1,910円	-	-	-	-	-

(注1) 潜在株式調整後の1株あたりの当期純損益は、最終損益が損失となるため記載を省略しております。

(注2) 今年度より消費税等については税抜処理に会計方針を変更しているため、補正した上での比率を算出しております。

(2) 部門別売上高 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	前年度 第4四半期 H14.4.1～ H14.6.30	今年度 第1四半期 H14.7.1～ H14.9.30	今年度 第2四半期 H14.10.1～ H14.12.31	今年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	今年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	今年度 累計 H14.7.1～ H15.6.30	前年 同期比 (注)	前年度 累計 H13.7.1～ H14.6.30
本社	376	479	354	411	2,483	3,729	+3.2%	3,794
鬼怒川店	8,033	14,538	8,790	8,104	8,019	39,452	+4.1%	39,809
那須店	5,568	10,113	4,886	4,458	5,528	24,986	0.1%	26,259
秋田六郷店	3,482	5,483	3,302	2,772	3,909	15,467	+2.2%	15,890
山中湖店	5,599	11,501	7,044	7,851	8,338	34,736	+55.3%	23,488
沼田店	5,557	7,854	6,810	7,389	6,262	28,316	+27.4%	23,339
水戸大洗店	4,419	8,618	4,761	6,140	5,081	24,602	+131.6%	11,155
北上店	-	3,150	2,051	2,541	3,469	11,212	-	-
合計	33,036	61,739	38,001	39,670	43,092	182,504	+33.3%	143,738

(注) 今年度より消費税等については税抜処理に会計方針を変更しているため、補正した上での比率を算出しております。

(3) 部門別経常損益 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	前年度 第4四半期 H14.4.1～ H14.6.30	今年度 第1四半期 H14.7.1～ H14.9.30	今年度 第2四半期 H14.10.1～ H14.12.31	今年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	今年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	今年度 累計 H14.7.1～ H15.6.30	前年 同期比 (差額)	前年度 累計 H13.7.1～ H14.6.30
本社	11,702	9,960	8,936	9,023	7,656	35,577	+8,284	44,152
鬼怒川店	463	6,413	830	893	725	8,861	272	9,133
那須店	331	4,996	448	311	46	4,905	1,012	5,917
秋田六郷店	1,283	1,089	1,434	1,088	1,091	2,523	94	2,429
山中湖店	259	5,668	566	2,037	1,163	9,435	+7,149	2,286
沼田店	17	2,177	1,226	1,829	731	5,965	+4,429	1,536
水戸大洗店	634	3,422	724	1,049	138	3,886	+9,689	5,803
北上店	102	2,251	2,545	1,987	868	7,652	7,362	-
合計	12,685	11,554	11,465	5,977	6,809	12,699	+20,810	33,509

(4) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 前年度 第4四半期末 H14.6.30	今年度 第1四半期末 H14.9.30	今年度 第2四半期末 H14.12.31	今年度 第3四半期末 H15.3.31	今年度 第4四半期末 H15.6.30
(資産の部)					
流動資産					
現金預金	15,400	16,325	10,726	6,796	11,185
その他	1,069	1,578	963	1,462	4,302
流動資産合計	16,470	17,903	11,689	8,258	15,487
固定資産					
有形固定資産合計	405,407	406,726	401,410	394,768	389,232
無形固定資産合計	2,964	2,804	2,644	2,483	2,323
投資その他の資産合計	13,798	13,689	13,590	13,481	15,514
固定資産合計	422,170	423,220	417,645	410,730	407,071
繰延資産	369	277	184	92	-
資産合計	439,010	441,401	429,520	419,081	422,559
(負債の部)					
流動負債	31,910	30,587	35,311	39,310	57,061
固定負債	244,775	236,934	231,795	223,330	217,064
負債合計	276,685	267,522	267,107	262,641	274,125
(資本の部)					
資本金	281,000	281,000	281,000	281,000	281,000
(資本準備金)	19,200	-	-	-	-
(剰余金)					
(当期末処分損益)	137,875	-	-	-	-
(うち当四半期純損益)	(34,601)	(-)	(-)	(-)	(-)
資本剰余金					
資本準備金	-	19,200	19,200	19,200	19,200
利益剰余金					
四半期(当期)未処分損益	-	126,321	137,787	143,764	151,766
資本合計	162,324	173,878	162,412	156,435	148,433
負債資本合計	439,010	441,401	429,520	419,081	422,559
発行済株式総数	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株
1株当たり純資産	28,883円	30,939円	28,899円	27,835円	26,411円

(5) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

第1四半期から第3四半期までの貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「(6) 重要な会計方針」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

固定資産の減価償却の方法	各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
繰延資産の処理方法	各四半期末の繰延資産償却費は、年間償却見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
経過勘定項目	未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しております。
税金の計上基準	法人税、住民税および事業税は、計上を省略しております。
消費税等の会計処理	消費税等については従来税込処理によっておりましたが、当期から税抜処理に変更しております。仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しております。

(6) 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法
- (1) 有形固定資産
定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下の通りです。
- | | |
|--------|--------|
| 建物 | 17～18年 |
| 構築物 | 15～20年 |
| 車両運搬具 | 4～6年 |
| 工具器具備品 | 3～8年 |
- (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。
- (3) 長期前払費用
定額法を採用しております。
なお、期間内均等償却によっております。
2. リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
3. 消費税等の会計処理
消費税等については従来税込方式によっておりましたが、当期から税抜方式に変更しております。
なお、この変更による影響は軽微であります。
4. 1株当たり当期利益に関する会計基準等
当営業年度より「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号）を適用しております。
なお、前営業年度において採用した方法により算定した、当会計期間の1株当たり当期利益に与える影響はありません。

(7) 会計方針の変更の理由

消費税等の会計処理について従来税込方式によっておりましたが、組織の整備にともない、当期より税抜方式に変更いたしました。

第9期（平成14年7月1日～平成15年6月30日）の業績の概況

(1) 本社

新規出店の成約にともなう企画調整費が1件のみであったため、売上高はほぼ前年度並（+3.2%）にとどまりましたが、人件費を含む経費の削減と新株発行償却費の大幅減により、経常損失は前年度に比べ大幅な改善（43,861 35,577千円）となっております。

(2) 鬼怒川店

稼働率は前年度を4ポイント（53.7 57.7%）上回りましたが、目標であった60%台への回復には届きませんでした。売上高は前年度を上回り（+4.1%）オープン以来の最高額となりましたが、経常利益（9,133 8,861千円）はわずかながら減少しました。

(3) 那須店

稼働率（56.6 52.6%）、売上高（0.1%）経常利益（5,917 4,905千円）とも前年度を下回りました。これはビジネス客の減少によるもので、客室単価は上昇したため、売上高はほぼ横ばいとなりました。

(4) 秋田六郷店

稼働率（44.4 45.5%）、売上高（+2.2%）は前年度を上回りましたが、経常損失はわずかながら拡大（2,429 2,523千円）し、黒字化を達成できませんでした。

(5) 山中湖店

オープン（2001.7）2年目に入り利用者が急増し、稼働率（46.6 70.9%）、売上高（+55.3%）、経常利益（2,286 9,435千円）とも大幅に前年度を上回りました。

(6) 沼田店

「山中湖店」同様、きわめて好調で、稼働率（67.0 81.2%）、売上高（+27.4%）、経常利益（1,536 5,965千円）とも大幅に前年度を上回りました。

(7) 水戸大洗店

オープン（2001.10）2年目に入り利用者が急増し、稼働率（38.8 63.3%）、売上高（+131.6%）、経常利益（5,803 3,886千円）とも大幅に前年度を上回りました。

(8) 北上店

オープン（2002.7）から半年ほどは稼働率が20%前後にとどまっておりましたが、その後利用者が漸増し、通期では、稼働率も32.1%となりましたが、経常利益は7,652千円と大幅な赤字となりました。

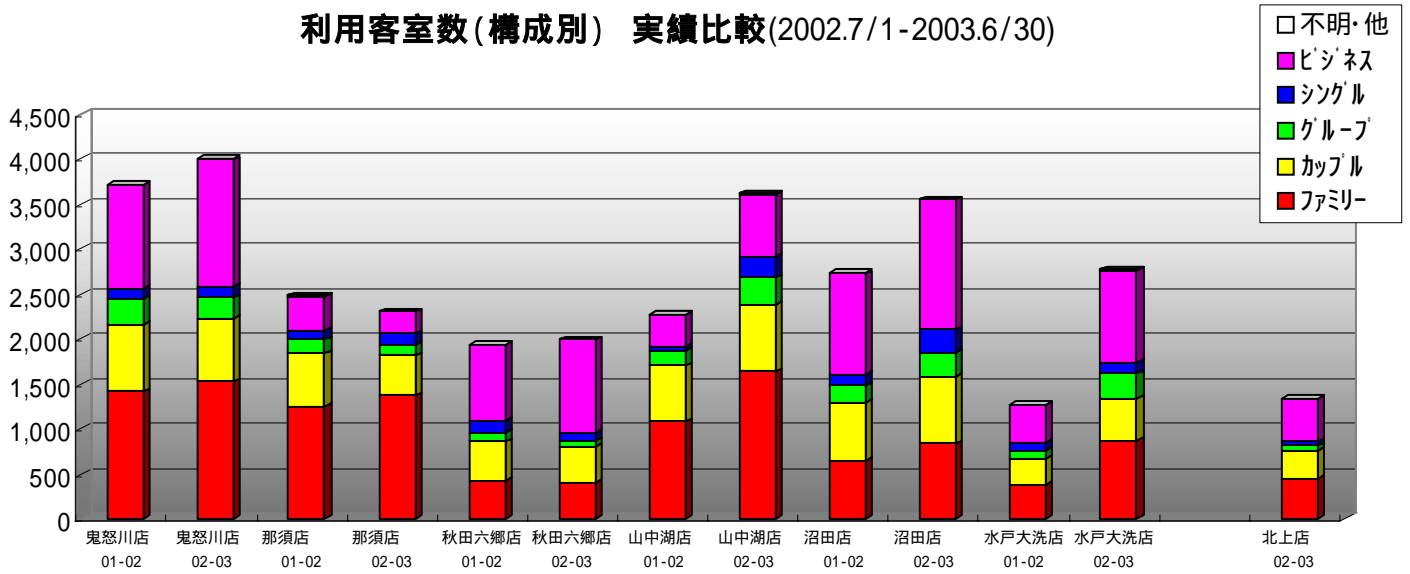
(9) 全社

売上高は「鬼怒川店」「那須店」「秋田六郷店」がほぼ前年度並みにとどまりましたが、オープン2年目に入った「山中湖店」「沼田店」「水戸大洗店」が大幅に増え、全社で33.3%の増加となりました。

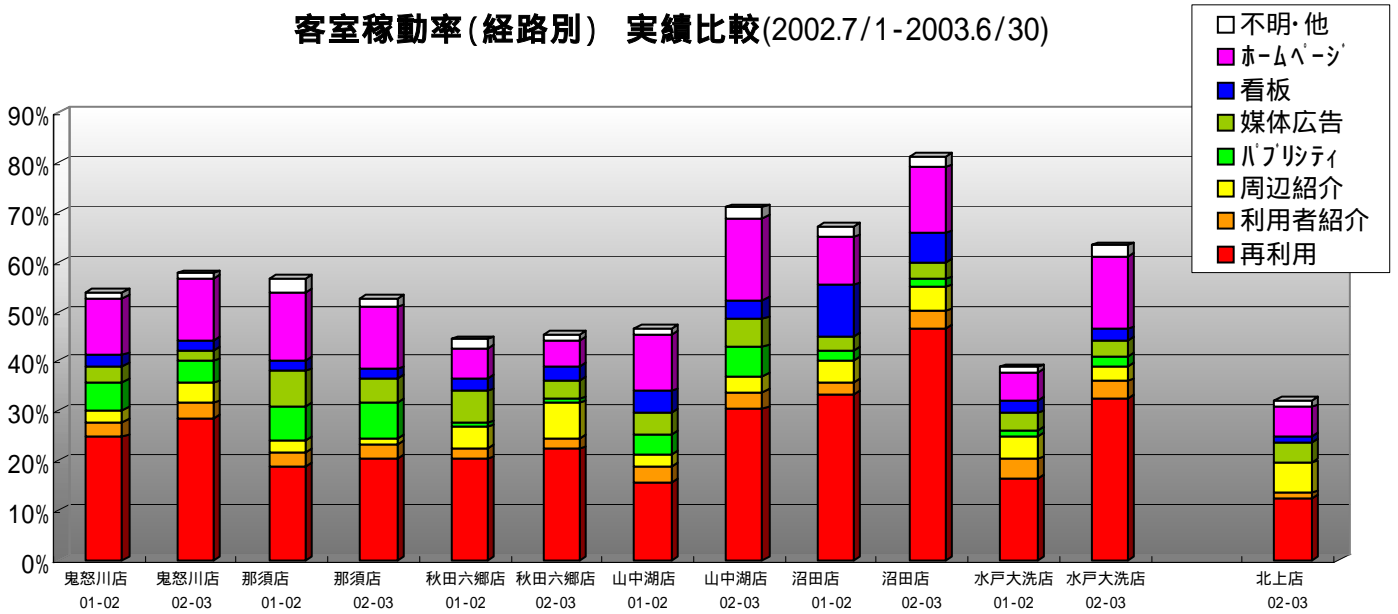
経常損益は、オープン初年度の「北上店」が大幅な赤字（7,652千円）でしたが、「本社」損失の減少（+8,284千円）、「山中湖店」（+7,149千円）、「沼田店」（+4,429千円）、「水戸大洗店」（+9,689千円）の利益拡大により、損失額は前年度に比べ大幅に改善（33,509 12,699千円）しました。

この結果、税引き後の当期純損益は13,891千円の損失となりました。過去3期の当期損益が30,000千円前後の赤字であったことに比べれば、大幅な改善となりましたが、初期の目標であった黒字転換に届かず、来期必達の目標となりました。

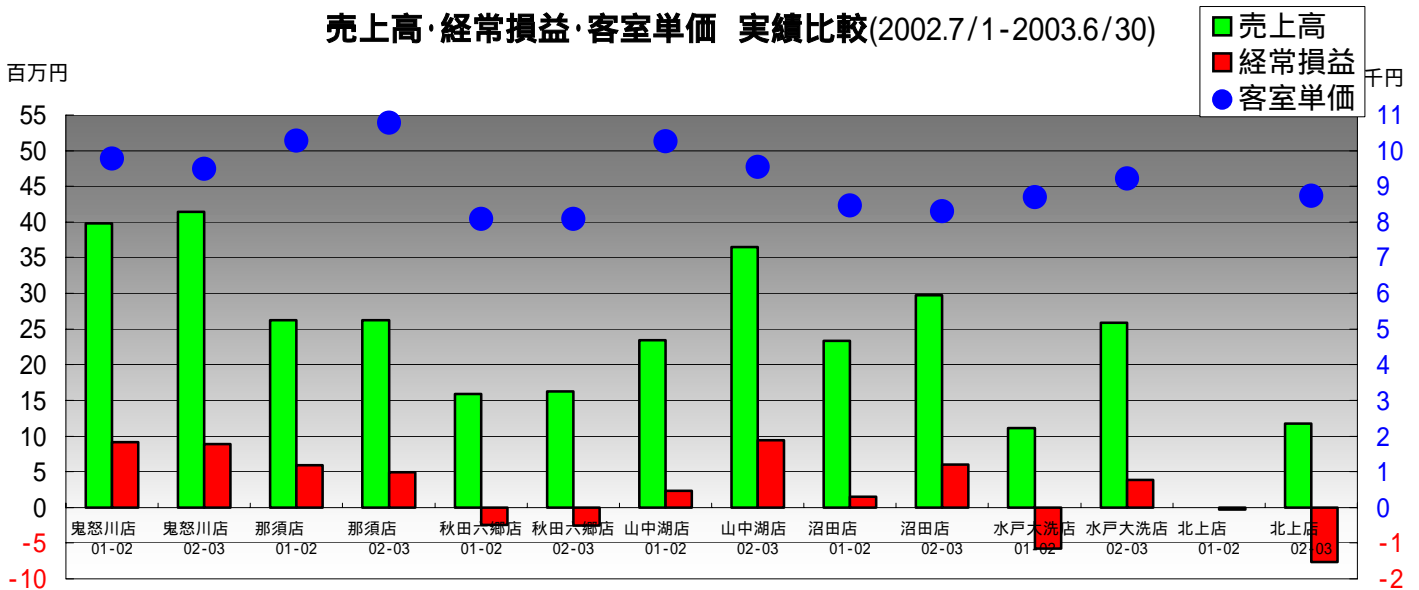
利用客室数(構成別) 実績比較(2002.7/1-2003.6/30)



客室稼働率(経路別) 実績比較(2002.7/1-2003.6/30)



売上高・経常損益・客室単価 実績比較(2002.7/1-2003.6/30)



売上高・客室単価については、消費税税込みの金額で表示しております。

第10期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 今年度実績 H14.7.1～ H15.6.30	来年度予想				通期予想 H15.7.1～ H16.6.30
		第1四半期 予想 H15.7.1-9.30	第2四半期 予想 H15.10.1-12.31	第3四半期 予想 H16.1.1-3.31	第4四半期 予想 H16.4.1-6.30	
売上高	182,504	66,000	44,000	45,000	47,000	202,000
経常損益	12,699	15,000	6,000	2,000	2,000	5,000

第6～8期の当期損失が30,000千円前後であったのに対し、今年度(第9期)は13,891千円の損失と赤字幅が大幅に圧縮されましたが、残念ながら、当初の目標であった黒字転換にいたりませんでした。来年度(第10期)は、「山中湖店」「沼田店」「水戸大洗店」に加え「北上店」の売上高の増加が見込まれること、下半期に新店舗のオープンが見込まれることなどから、売上高が2億円を超え、経常損益・当期純損益(4,500千円見込み)とも念願であった黒字転換を予想しております。

資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第9期 第1四半期 H14.7.1～9.30	第9期 第2四半期 H14.10.1～12.31	第9期 第3四半期 H15.1.1～3.31	第9期 第4四半期 H15.4.1～6.30
現金および預金の増減額		+ 924	5,598	3,930	+ 4,388
現金および預金の期首残高		15,400	16,325	10,726	6,796
現金および預金の四半期末残高		16,325	10,726	6,796	11,185

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第9期 第1四半期 H14.7.1～9.30	第9期 第2四半期 H14.10.1～12.31	第9期 第3四半期 H15.1.1～3.31	第9期 第4四半期 H15.4.1～6.30
短期借入金の増減額		-	-	+ 5,000	+ 10,000
短期借入金の期首残高		-	-	-	5,000
短期借入金の四半期末残高		-	-	5,000	15,000

短期借入金の増加は、甲斐 真(代表取締役)からの運転資金借入れ10,000千円によるものです。

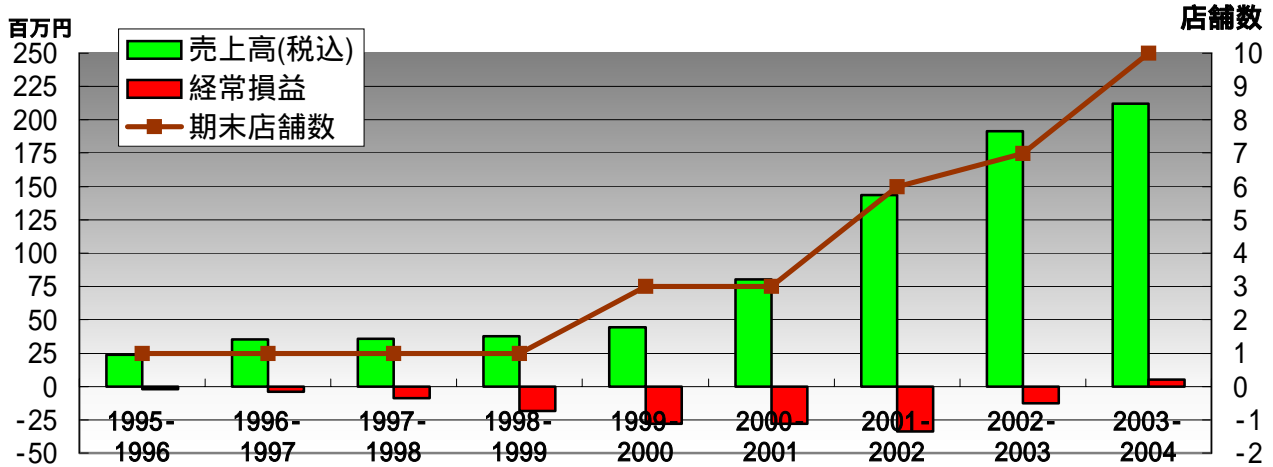
(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております。1年以内返済予定額を含みます。

なお、1年以内返済予定額については、貸借対照表上では流動負債として表示しております。)

科目	期別	第9期 第1四半期 H14.7.1～9.30	第9期 第2四半期 H14.10.1～12.31	第9期 第3四半期 H15.1.1～3.31	第9期 第4四半期 H15.4.1～6.30
長期借入金の増減額		7,029	2,237	7,653	3,653
長期借入金の期首残高		265,881	258,852	256,615	248,962
長期借入金の四半期末残高		258,852	256,615	248,962	245,309

今後の事業展開と出店計画について

年度別 業績推移 (2003-2004は予想)



「浦佐店」のスケジュール変更

6月に待望の8号「浦佐店」の出店契約を調印しましたが、その後オーナーの建物建築資金の調達が難航し、7月着工・11月オープンの予定を来春3月着工・7月オープンに延期しました。

その他の出店計画

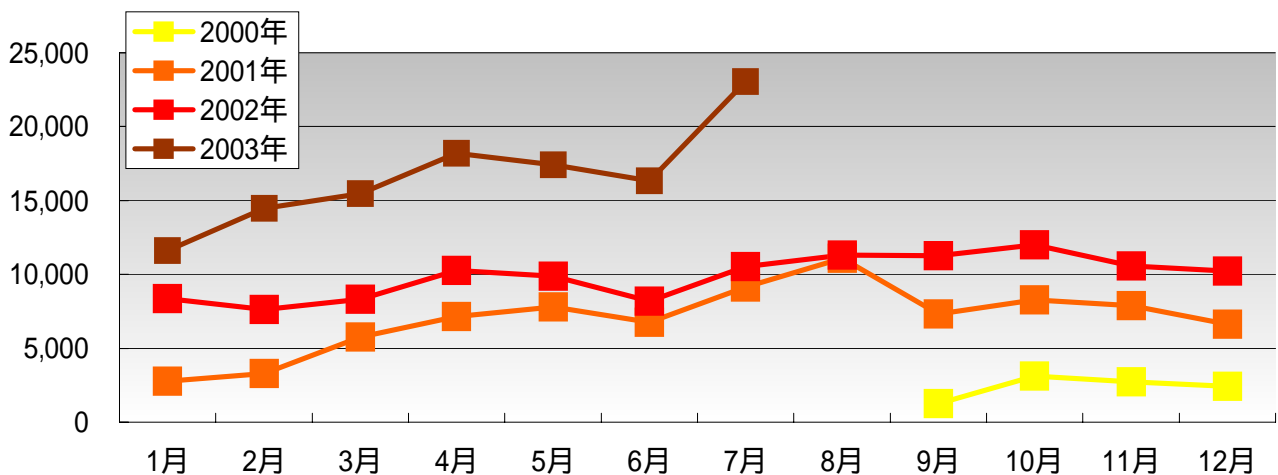
現在、成約の可能性が高い案件が宮城県、山梨県、神奈川県に各1件あり、「浦佐店」を含め、今年度末には10店舗体制とする計画です。なお、これ以外に山形県、茨城県、静岡県に具体的な交渉案件があります。いずれも、新規出店が決まった時点で各方面にニュースをリリースし、パブリシティに活用する計画です。

ネットを活用した効率的な広告宣伝活動

Yahooへの全店舗ディレクトリー登録、LooksMart経由での複数検索サイトへの全店登録、アドワーズ広告、女性向けポータルサイト「ウーマン・チョコキ」へ各店舗の宿泊レポートが掲載などにより、ホームページへのアクセス数が前年に比べ倍増しております。

また、ネット上での露出度アップのため、昨年11月より宿泊施設予約サイトである「旅の窓口」に登録しましたが、一定の効果が上がっているため、今週よりHISの「宿泊の王様」にも全店登録する予定です。

ウェブサイト 月別アクセス数



以上